

2020年のポストカードの作品が決定!

「明るく元気な病人を目指す楽描(らくがき)家!」 画家 河辺友代さん



難病の線維筋痛症と向き合いつつ 一日一日楽しんで絵を描く

頭の回転が速く手も口も早く、「私は元来がウーマクワ(やんちゃ者)だから!」と冗談交じりで次から次へと話題を繰り出す一方で、手元は一切休めることなく瞬間に絵を仕上げている。河辺友代さんとお話をしていると、難病の「線維筋痛症」患者であることを忘れてしまっただけ、自身の体と正面から向き合いつつ意欲的に創作活動を続け、18年には画集『366日の誕生花とこうーちゅいおめいー(ひとり言)』を出版しました。今年のフレッシュウインズ同梱のポストカードでは、その本所収の作品をはじめ、河辺さんと一緒に厳選した12枚のイラストをお届けします。

線維筋痛症とは、全身の広い範囲に強い痛みが現れる原因不明の病気。河辺さんは18年前に発症し、「こんなにツライの何の検査をしても異常なし。当時の国内ではまだまだ認知度が低く、病名を突き止めるまでに5年近くかかりました。」

絵を描き始めたきっかけは、ご主人の仕事の関係で千葉県に住んでいたとき、買い物途中に立ち寄った絵手紙教室でした。「義父母の結婚記念日にちよっどいいかも」と何気なく描き始めたところ、「私って天才だ(笑)」と隠れていた絵心を発見。以来、日常の身近なものを中心に描くようになり、義父の勧めもあって、ほぼ毎年個展を開催するようになりました。



画家 河辺 友代さん

線維筋痛症の画家。嘉手納生まれ。嘉手納、コザ、那覇育ち。結婚後千葉に住む。2009年、病気の痛みを和らげる目的で絵を描き始める。2015年、夫と旗谷村に移住。2018年までギャラリー「海ばた〜」、2019年からは「アトリエ風香」として絵画、アクセサリー制作。

【個展・グループ展】
2008年 初個展…千葉市民ギャラリーいなが
2009年 2回目…千葉市民ギャラリーいなが
2010年 3回目…千葉市民ギャラリーいなが
4回目…浦添市福祉プラザ
2011年 5回目…千葉市民ギャラリーいなが
6回目…千葉市花の美術館
2012年 7回目…千葉市花の美術館
2014年 8回目…千葉市 画廊ジュライ
2015年~2018年…ギャラリーカフェ海ばた〜にて常設展示
2009年 五人展…千葉県市川市 ギャラリー一空
2010年~2013年…埼玉県蕨市 スギタホール 難病と闘う仲間たち(4回)

Fresh ウインズ

人と人とのつながりを大切に…。池原建設が大切なお客様にお送りする手作り広報誌



なぞなぞに **読者** 答えて

🎁 プレゼント 🎁

『映画ペアチケット』

3 名様

Q なぞなぞ 陸上競技場にいつもある車って、何?

ヒント 仕事で使う事が多い車です。

ワイワイ広場

読者プレゼント応募方法

宛先 読谷村字伊良皆237-1 ウインズ『広報誌係』

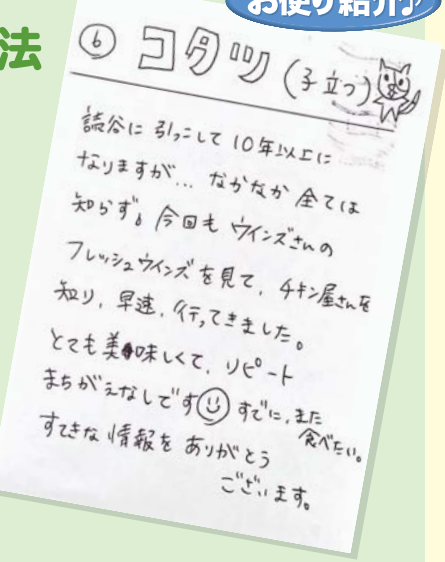
①住所 ②氏名 ③年齢 ④職業 ⑤電話番号

裏 ⑦ご意見 ご感想

応募者の中から抽選で、読者プレゼントを進呈致します。どしどしご応募下さい!

締め切り **2020年1月20日消印有効**
「当選者は次号(Vol.185)にて発表致します」

『Freshウインズ』は、建築でお手伝いをさせて頂いた施主様をはじめ、地域にお住まいの方など、ご縁をいただいた皆様に配布しております。諸事情により配布不要となった際は大変お手数ですが、その旨ご連絡下さい。(ウインズ広報誌係)



- 12月号当選者 前号の答え(こたつ)
- ★野村 泉さん(読谷村在住)
 - ★吉田 日織さん(うるま市在住)
 - ★玉城 ともえさん(読谷村在住)



↑那覇市 沖防衛省 役場 嘉手納町 名嘉病院 比新川 エネオス ウインズ★ ファミリーマート おきなわ 道の駅 読谷村 読谷高校 58 伊良皆 名護市→

(株)池原建設 企画事業部ウインズ
〒904-0303 沖縄県読谷村字伊良皆 237-1
営業時間 / 9:00~18:00 (年末年始を除く)

住宅のメンテナンスや 補修等のご相談は、お気軽に スタッフへお声掛け下さい!

☎0120-229-512 ウインズ 池原建設 検索

今月の歳時記

- 1月18日(土)~2月2日(日) **第42回 もとぶ八重岳桜まつり**
会場・開催地/本部町・八重岳桜の森公園
- 1月19日(日) **読谷村新春トリムマラソン・第20回 読谷村小学生駅伝大会**
会場・開催地/読谷村・残波岬公園内
- 1月25日(土)・26日(日) **第43回 沖縄市産業まつり**
会場・開催地/沖縄市・沖縄県総合運動公園 体育館及び周辺広場
- 1月25日(土)・26日(日) **第58回 名護さくらまつり**
会場・開催地/名護城公園・名護市内

明けましておめでとうございます!

本年も池原建設並びに手作り広報誌『Fresh!ウインズ』をよろしく願い申し上げます。

いよいよ東京オリンピックイヤーの幕開けですね。皆さんは観戦チケットの抽選はいかがでしたか? 足元を見れば、今年も全国的に暖冬傾向。那覇市の寒緋桜の開花時期は平年1月18日頃ですが、さてさて今年はどうなるのでしょうか。



池原建設ミラクル2020。オリンピックピックイヤーに更なる飛躍を期す お客様に喜ばれ、社員自身が自信を持って誇れる会社に



■スタッフ全員でバトンをつなぎ、家づくりをはじめ建築全般のご要望にチームで対応します。2020年が皆様にとって素晴らしい一年になりますように！

事業計画の柱に「サンライズからミラクルへ」のスローガンを据えてから、2年目のシーズンに入ります。代表の池原多加氏をはじめ各セクションのリーダーが集まり、昨年一年間を振り返りながら、2020年の抱負を語り合いました。



代表・池原多加氏

■お互いを信頼し、心を合わせてバトンをつなぐ

昨年からは事業計画に掲げた「Miracle(ミラクル)」とは、辞書通りの「奇跡」の意味ではなく、「思いも寄らないようなさまざまな成果」のこと。社会と建設業界を取り巻く情勢を見据え、数年前から社内体制の抜本的な改革に取り組みしてきましたが、その具体的な成果がようやく昨年あたりから見えて



総務・雨瀬美和

■皆が力を発揮できるように名脇役に徹する

総務一番の大仕事は、「1月の新年会・4月の安全衛生大

会・7月の家族会・10月社員旅行」の4つの年間行事。一昨年末では決め事のたびに代表の池原や役員から指示を仰ぎ、それぞれの計画に反映させてきました。2019年は最初の発案から諸々の手配、行事当日の進行まで、すべて私たち社員だけで行いました。不安とプレッシャーを感じながらも無事に乗り越えられたことは大きな自信になり、今まで以上に「池原建設の一員になれた」と実感しています。

どの会社でも総務というのは、裏方に徹した仕事です。池原建設の経営理念にある「私たちは、仕事という舞台の中で名脇役に徹し、人生の主役を楽しまます」というパリュウ(行動指針)は、まさに総務の仕事そのもの。2020年も社員全員がそれぞれの持ち場で力を発揮できるように支え役に徹し、総務としてできることをやっていきたいと考えています。



企画事業部・長浜円

■完成に向けて、喜びが徐々に大きくなる家づくり

お客様の喜びが私たちの喜び。お客様の直接の窓口となり、接する時間が最も長い私たち企画事業部にとって、仕事のやりがいはその一言に尽きます。家づくりの工程には完成までの間に「仮契約・請負契約・地鎮祭・引き渡し」と4つの大きなイベントがあ

るのですが、2019年はそのイベントが一つ進む度に、お客様の喜びの声が段々大きくなっていくことを実感した一年でした。

個人のことについていえば、問題解決に対する姿勢が大きく変わりました。何事も後手後手に回らず、スピーディーにどう対処するかによって、トラブルがトラブルではなく逆に信頼につながることを身をもって経験しました。実務面では、デザイン研修で培った3D図面の反響が大きく、半歩でも一歩でもお客様の近くに寄り添って、理想の家づくりのお手伝いをしていきたいですね。

■当たり前前することを当たり前前にすることを習慣化



建設事業部・真栄喜憲市

身近なことの丁寧な積み重ねこそが、目標達成の最善の近道だと改めて実感した2019年。工程管理の面では、毎週の会議はもちろん設計、営業とも密にコミュニケーションを取りながら進

行状況をチェックし、大きな遅延もトラブルもなく、ほぼすべての工事を工期内に竣工できました。また他の部署の協力を得て行っている「社内安全パトロール」のおかげもあり、現場の美観も向上。業務面では、各代理人が紙資料を持ち運ぶ代わりにタブレットを携帯することで、外出先で必要な情報をすぐ取り出せる体制を整えました。2020年もまずは昨年の取り組みを継続して行い、さらなる習慣化・効率化を図ることが目標です。結果的にそれが年末になって、昨年以上の大きな成果「ミラクル」につながれば最高ですね。



施工事業部・照屋悟

■信頼から生まれる無言のコミュニケーション

9年は、リフォーム・リノベーション業務が急増した一年でした。施工品質については、社内一定の基準を設定して厳しく管理しており、どの物件もご満足いただける状態で引き渡してきたと自負していま

すが、新築工事と比べると、お客様の要望も、また実際の施工面でも、要所が微妙に異なる点が多く、両者の声の橋渡しに苦心することがしばしばありました。

それでもスムーズに業務をこなせたのは、他のスタッフや大工さんの協力のおかげ。ここ数年は施工事業部のリーダーとして、いかに意思伝達するかばかりを考え続けてきましたが、信頼して任せることで応えてもらえる無言のコミュニケーションがあることに気付かされました。新しい年に向けて、今後のチームづくりのあり方が垣間見えた気がします。



常務・仲村勝志

■社内を風通し良く。働き方改革も積極的に推進

各セクションのリーダーの業務をサポートしつつ、今の時代に合った働きやすい社内体制を整えることが私の役割。例えば昨年9月には、社員全員が共有する時間を意図的に増やすために、企



これからの建設会社のあるり方を見据えて、「働き方改革」にも積極的に取り組みました。就業規則一つを取っても、社会保険労務士の先生を交えて議論を重ね、自社に合った内容を改めて作成。社員が働きやすい職場としてのモデルケースになればと思っています。